

等級及び職制上の段階ごとの職員数（平成28年4月1日現在）

行政職給料表

等級	等級別基準職務表に規定する 基準となる職務	人数 (人)	割合 (%)	職制上の段階	人数 (人)	割合 (%)
1級	定型的な業務を行う職務	499	15.6	係員級	782	24.5
2級	高度の知識又は経験を必要とする職務	283	8.9			
3級	1 主任の職務 2 主査の職務	708	22.2	係長級	1603	50.2
4級	1 係長の職務 2 困難な業務を処理する主任の職務 3 困難な業務を処理する主査の職務	895	28.0			
5級	1 副主幹の職務 2 課長補佐の職務 3 困難な業務を処理する係長の職務	495	15.5			
6級	1 課長の職務 2 困難な業務を処理する副主幹の職務 3 困難な業務を処理する課長補佐の職務	240	7.5	課長級	240	7.5
7級	1 局次長の職務 2 困難な業務を処理する課長の職務	51	1.6	局次長級	51	1.6
8級	1 局長の職務 2 困難な業務を処理する局次長の職務	22	0.7	局長級	23	0.7
9級	困難な業務を処理する局長の職務	1	0.0			
合計		3194	100.0			

医療職給料表（一）

等級	等級別基準職務表に規定する 基準となる職務	人数 (人)	割合 (%)	職制上の段階	人数 (人)	割合 (%)
1級	1 係長の職務 2 課長補佐の職務	0	0.0	係長級 課長補佐級	0	0.0
2級	1 課長の職務 2 困難な業務を処理する課長補佐の職務	1	50.0	課長級	1	50.0
3級	1 局次長の職務 2 局長の職務 3 困難な業務を処理する課長の職務	0	0.0	局次長級 局長級	1	50.0
4級	1 困難な業務を処理する局次長の職務 2 困難な業務を処理する局長の職務	1	50.0			
合計		2	100.0			

医療職給料表（二）

等級	等級別基準職務表に規定する 基準となる職務	人数 (人)	割合 (%)	職制上の段階	人数 (人)	割合 (%)
1級	定型的な業務を行う職務	0	0.0	係員級	4	12.1
2級	高度の知識又は経験を必要とする職務	4	12.1			
3級	主任の職務	7	21.2	係長級	18	54.5
4級	1 主査の職務	11	33.3			
	2 係長の職務					
	3 困難な業務を処理する主任の職務					
5級	1 副主幹の職務	8	24.3	課長補佐級	8	24.3
	2 課長補佐の職務					
	3 困難な業務を処理する係長の職務					
6級	1 課長の職務	3	9.1	課長級	3	9.1
	2 困難な業務を処理する副主幹の職務					
	3 困難な業務を処理する課長補佐の職務					
7級	管理者の定める職務	0	0.0		0	0.0
	合計	33	100.0			

医療職給料表（三）

等級	等級別基準職務表に規定する 基準となる職務	(人)	(%)	職制上の段階	人数 (人)	割合 (%)
1級	定型的な業務を行う職務	0	0.0	係員級	0	0.0
2級	高度の知識又は経験を必要とする職務	0	0.0			
3級	主任の職務	0	0.0	係長級	3	50.0
4級	1 主査の職務	3	50.0			
	2 係長の職務					
	3 困難な業務を処理する主任の職務					
5級	1 副主幹の職務	3	50.0	課長補佐級	3	50.0
	2 課長補佐の職務					
	3 困難な業務を処理する係長の職務					
6級	1 課長の職務	0	0.0	課長級 局次長級	0	0.0
	2 局次長の職務					
	3 困難な業務を処理する副主幹の職務					
	4 困難な業務を処理する課長補佐の職務					
7級	管理者の定める職務	0	0.0		0	0.0
	合計	6	100.0			

※各表において、再任用職員（短時間勤務）、特定任期付職員、教員は含まない。